

文化の森いざ・なう 伝統芸能の世界へ能楽へ

敦盛

あつ

もり



令和五年

三月二十一日(火・祝)

▼十四時開演 (開場 十三時十五分)

▼徳島県立二十一世紀館

すだちくん森のシアター

▼定員 八百名 (先着順)



狂言

仙師

ぶっし

入場無料
申込不要

主催 徳島県立 21 世紀館
〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL:088-668-1111 (代)
FAX:088-668-7196
メール :c21_iken@bunmori.tokushima.jp
<https://21ccic.bunmori.tokushima.jp>

新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、
中止または内容を変更する場合があります。
中止等のお知らせは、二十一世紀館ホームページに掲載します。



解説
仕舞

吉浪 壽晃

賀茂 網之段 鶴飼

浦部 幸裕
寺澤 幸祐
吉浪 壽晃

地謡

河村 和貴
深野 貴彦
田茂井廣道
宮本 茂樹

仏師

狂言

すっぱ 茂山忠三郎

田舎者 山本 善之

能

休憩(一〇分)

敦

盛

蓮生法師 岡 充

大鼓 谷口 正壽
小鼓 久田陽春子

笛 齊藤 敦

間 里人 山口 耕道

宮本 茂樹 橋本ハル子 田茂井廣道
後見 寺澤 幸祐 地謡 河村 和貴 吉浪 壽晃

味方 團 深野 貴彦 浦部 幸裕

附 祝 言

終演予定十六時過ぎ



ひろひさ 裕久
ひろ上 井

観世流シテ方 京都市在住
二十五世宗家故観世左近・
二十六世宗家観世清和及び
父九世故井上嘉介に師事
国指定重要無形文化財「能楽」技能認定者
能楽協会理事他役職多数
平成三十一年一月 京都府文化賞功労賞受賞

『平家物語』で語られなかった

平敦盛(笛の名手・十六歳の美少年)と

熊谷直実(当代随一の勇猛な武将)のもう一つの物語

能【敦盛(あつもり)】 あらすじ

一ノ谷の合戦で、当時十六歳の敦盛を討ちとった熊谷次郎直実は、あまりの痛ましさに無常を感じ、出家して蓮生と名乗り、敦盛の菩提を弔うため一ノ谷を訪れます。するとそこへ笛の音が聞こえ、数人の草刈男があらわれます。蓮生がその中の一人と笛の話をしているうちに他の男達は帰ってしまいます。男が十念を授けてくれるよう頼むので、蓮生が不審に思い尋ねると、男は敦盛の霊であることをほめかして消え失せます。

蓮生が、夜もすがら念仏をとなえていると、敦盛の亡霊があらわれ、平家一門の栄枯盛衰を語り、続いて自らの討死の様を見せ、今その敵に巡り会ったので仇を討とうとしますが、丁重な弔いを受け、後世を弔ってくれる今の蓮生法師はもはや敵ではないと、回向を頼んで消え失せます。
※十念(じゅうねん)「南無阿弥陀仏」を十回称えること

賀茂【かも】

都上賀茂、別雷神が現われ、雷を鳴らし雨を降らせ、五穀成就を守る神威を見せる。

網之段【あみのだん】

みずから身を売った我が子桜子を尋ねて、花の名所桜川で、流れる花と子を重ね、母は狂おしく舞う。

鶴飼【うかい】

禁漁を犯して殺された鶴使いを、地獄の鬼が現われて、生前の善行と法華経の功德により地獄へ送られることから救う。

狂言【仏師(ぶっし)】

持仏堂を建立した田舎者が仏を求めに都へ上り、安阿弥の流れを受ける仏師と自称する男と出会うが……。

※会場での飲食、写真撮影、録音、録画は、ご遠慮ください。

※屋外で開催しますので、暖かい服装でご来場ください。

※出演者は、変更になる場合があります。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のご協力とお願い

○来場時には、手指の消毒、マスクの着用、入場前の検温等にご協力ください。

○発熱、咳、喉の痛みなど体調が良くない場合は、ご来場をお控えください。

○周囲の方と十分な間隔を取り、会話はなるべくお控えください。

